



令和7年度王城寺原演習場における米軍実弾射撃訓練
の実施に伴う安全対策等について（要請）

王城寺原演習場における米軍実弾射撃訓練の実施に当たっては、去る12月25日、当協議会として、くれぐれも事件・事故が起こることのないよう、安全対策に万全を期すとともに、地元に対する適時・的確な情報提供、米兵の外出自粛、射撃訓練の実施時間帯への配慮等を要望したところです。

これらの事項について、今後とも、国として責任をもって誠意ある対応をされますとともに、米軍実弾射撃訓練の訓練日程等が明らかにされたことに伴い、今後、下記事項についても万全の措置を講ずるよう強く要請します。

記

- 1 滞在期間中、訓練部隊の司令官が責任を持って部隊の秩序と規律を維持し、その際、最高度の綱紀を確保するよう、強く米軍に申し入れること。
- 2 仙台港港湾施設の使用が予定される場合には、他の船舶及び港湾活動に影響を及ぼさないよう十分配慮し、関係自治体や施設管理者への事前の周知を図ること。
- 3 米兵の移動に当たっては、地域住民に不安を感じさせないように、銃の携帯方法等について、十分配慮すること。
- 4 地元との信頼関係をより強固なものとしていくためにも、地元に対する情報提供を後退させることなく、訓練公開及びブリーフィングを確実に実施するよう、米軍と調整すること。

令和8年1月16日

東北防衛局長

池松 英浩 殿

王城寺原演習場対策協議会



宮城県副知事	伊藤 哲
大和町長	浅野 俊彦
大衡村長	小川 ひろみ
色麻町長	早坂 利悦